

**第1戦はスタートでエンジントールも16台抜きの10位、
第2戦は予選から2ポジションupの4位のダブル入賞を果たす**



中山雄一にとってフォーミュラデビューレースとなる FCJ 開幕戦が、春の爽やかな青空のもと富士スピードウェイにて開催された。

開幕戦の約1ヶ月前に26名の全ドライバーが初めて顔を合わせた合同テストでは、マシンとメカニックの抽選を行い、車番は22、担当メカは東京 R&D に決まった。2日間6セッションにおよんだ走行練習では常に5番以内のタイムを記録し、今年初参戦のドライバーの中ではもちろんトップ、2年目3年目の選手にもひけをとらない好調な走りを見せた。レースウィークの木曜と金曜に行われたテストでは、予選アタックを想定したニュータイヤでのタイムの上がりも良く、またロングラン時のタイムの落ち込みも少なく、自信を持ってレースに臨むことができた。

第1戦予選 6位 (BestTime 1'42.187)

土曜日の朝9時から行われた第1戦の予選は15分間の走行。コースオープンと同時に全車コースイン。初の予選でドライバーが固くなっているのか、計測ラップが進んでもなかなかラップボードの上位に名前が現れない。ようやく計測7周目に6番手となるベストタイムを記録して、それがそのまま第1戦の予選結果となった。

第2戦予選 6位 (BestTime 1'42.168)

第1戦の予選終了後10分間のインターバルをはさみ第2戦の予選が開始された。このインターバルの間、ドライバーはコックピットで待機し、マシンの調整等も一切できない。第2戦の予選も15分間の走行。今回は走り出しからタイムの出も良く、計測2周目にはラップボードの3番目に名前が表示される。ところがその後集団の中での走行となってしまうタイムを伸ばすことができず、結局6番手まで順位を落として、第2戦も第1戦と同じ6位となった。



第1戦決勝 10位 (BestTime 1'42.662) 獲得ポイント:1ポイント

土曜日の午後1時から行われた第1戦の決勝レース。スタートグリッドは3列目のコース内側だ。1周のフォーメーションの後、全車グリッドに整列。赤ランプの点灯を待つ緊張の時間が進む。赤ランプが消灯した瞬間、痛恨のエンジンストール！ 後方から加速してくるマシン群は全車うまく避けてくれた。その後エンジンスタートに少々手間取り、やっとスタートできたのは最後尾のマシンが1コーナーをクリアしたときだった。しかしレースが始まってしまえば落ち着いたもので、1周1台のペースで前車をパスしていく。最終的に16台抜きの10位で15周のレースのチェッカーを受け、貴重な1ポイントを獲得した。

第2戦決勝 4位 (BestTime 1'42.911) 獲得ポイント:10ポイント

第2戦の決勝レースはフォーミュラニッポンの決勝レースが行われる日曜日の朝9:30から行われた。第2戦のスタートは前日のストールを意識しすぎたか逆にホイールスピンが多く、1コーナーに10番手前後で進入した。ところが1周目のAコーナーで3番手を走るマシンがスピン。混乱の中をうまくすり抜け順位を6番手まで戻すことに成功した。前を走る4位と5位のマシンを1周毎にパスし、3番手とは約4秒の差。21周のゴールまでにその差を1秒に縮めたところでチェッカーを受けた。表彰台まであと1歩の4位で第2戦の決勝レースを終えた。

ドライバーのコメント

第1戦の予選は緊張からかドライビングがギクシャクしてしまい狙っていたタイムにコンマ2秒ほど足りませんでした。第2戦の予選は最初から飛ばしていきタイムの出かたも良かったと思いますが、前を走るマシンとの間隔の問題かスリップを使おうとしてもタイムが思いのほか伸びませんでした。カートだったら良さそうな間隔もフォーミュラでは近すぎたようです。次戦の予選ではしっかりとクリアラップをとらなければいけないと思いました。

第1戦の決勝では悪い予感が的中してエンストしてしまいました。実は前日のスタート練習もうまくいかなかったので、少し不安でした。それで気が動転してスタートボタンを間違えたり、再度エンストしたりと、最低なスタートでした。でも、スタートしてしまったら逆に開き直れて、おもしろいように前車をパスしていくことができ、かえて良い練習になった気がしました。

第2戦のスタートは今度はホイールスピンさせてしまいました。それがかえて1周目のアクシデント巻き込まれないことにつながったのではないかと思います。4位に上がって3番手のマシンを追ったときはミスを何度もしてしまい、最後は1秒差まで詰めましたが、抜くことはできませんでした。

次回のレースではスタートを決めることと、レース中のラップを安定させることを課題にしたいと思います。

次回のスケジュール

4月16日～17日 鈴鹿合同テスト

5月8日～11日 第3戦、第4戦 鈴鹿サーキット



